

別紙様式 1

令和 6 年度昭和北中学校区研究推進計画

校番 (1 7) (昭和北中) 学校

校長名 九十九 尚志

1 学校教育目標

未来を拓く人間の育成

2 目指す児童生徒像

自らを生かし、共によりよく生きようとする児童生徒

- ・協働して安心できる学校をつくろうとする児童生徒
- ・主体的に問題や課題と向き合う児童生徒

3 育成を目指す資質・能力 (具体の姿)

設定した資質・能力	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
	知識・技能	協働的問題解決力	心の回復力
	・学習したことを理解し, 様々な場面で活用できる。	・相手の考えに共感したり, 多様な考えを共有したりし, あらゆる角度から総合的に考え問題を解決することができる。	・逆境や困難な状況でも, 自らの課題と向き合い, 取り組もうとする。 ・学んだことを実生活で生かそうとする。
後期	・必要な知識や技能を選んだり, 組み合わせたりしながら課題解決ができる。	・共通の課題解決に向け, 結果を予測しながら実行し, プロセスを振り返り, 次の課題発見・解決につなげることができる。	・進んで協働しながら, 個人や集団の課題を解決しようとする。 ・学んだことを実生活で生かそうとする。
中期	・既習内容を使って課題解決ができる。	・課題意識をもちながら互いの考えを共有し, 多面的, 総合的に問題の解決方法を協働して考えることができる。	・周りの人の助けを借りながら, 個人や小集団の課題を自ら解決しようとする。 ・自分に合った目標を設定しようとする。
前期	・新しく習得した知識や技能を使うことができる。	・自分と友達の考えを比較しながら, 問題の解決方法を協働して考えることができる。	・自分から困っていることを伝えて, 課題を積極的に解決しようとする。 ・他者を理解し, 受け入れようとする。

4 研究主題等

(1) 研究主題

自らを生かし、共によりよく生きようとする児童生徒の育成
～安心して学校生活を送ることができる風土の醸成を通して～

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

本中学校区は、基礎的・基本的な学力が身に付いておらず、主体的に学ぼうとする児童生徒も少ない。そのため、習得した新しい知識や技能を活用しながら、自ら課題を解決することが難しい傾向にある。また、生活習慣の乱れや、ストレスに対して精神的なダメージを受けやすく、その状態を改善する力が弱いため、遅刻や不登校の児童生徒も多い。さらに、他者の多様な価値観を受け入れ、自分で考えて公正・公平に判断することが難しい児童生徒が多いため、問題行動が多いという実態がある。

これらの課題に対して、自らを生かし、共によりよく生きようとする児童生徒の育成を行うために、3つの部会を設定した。

「インクルーシブ教育部会」では、全ての児童生徒が主体的に参加することができる指導方法の工夫に取り組み、既習内容を様々な場面で活用する力を養うことで、自ら課題を解決する力を高める。「心の回復力向上部会」では、児童生徒の心の回復力を高める指導方法の工夫に取り組み、逆境や困難な状況から自ら回復する力を高める。「集団づくり部会」では、生徒指導の三機能を生かしながら協働して課題を解決する指導方法の工夫に取り組み、協働して安心できる学校をつくらうとする意識を高める。

(3) 研究仮説

インクルーシブ教育や心の回復力（レジリエンス）の育成、生徒指導の三機能を生かした集団づくりを通して、安心して学校生活を送ることができる風土の醸成をすれば、自らを生かし、共によりよく生きようとする児童生徒の育成ができるだろう。

5 研究内容

[インクルーシブ教育部会]

○ 部会テーマ

全ての児童生徒が主体的に参加することができる指導方法の工夫

○ 取組内容

- ・個に応じた支援方法の充実
- ・授業のユニバーサルデザイン化の工夫改善
- ・特別支援教育に係る研修の実施

[心の回復力向上部会]

○ 部会テーマ

児童生徒の心の回復力を高める指導方法の工夫

○ 取組内容

- ・レジリエンスを育成する学習プログラムの実施
- ・よりよい健康習慣づくりのための指導
- ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用
- ・レジリエンスに係る研修の実施

[集団づくり部会]

○ 部会テーマ

生徒指導の三機能を生かした指導方法の工夫

○ 取組内容

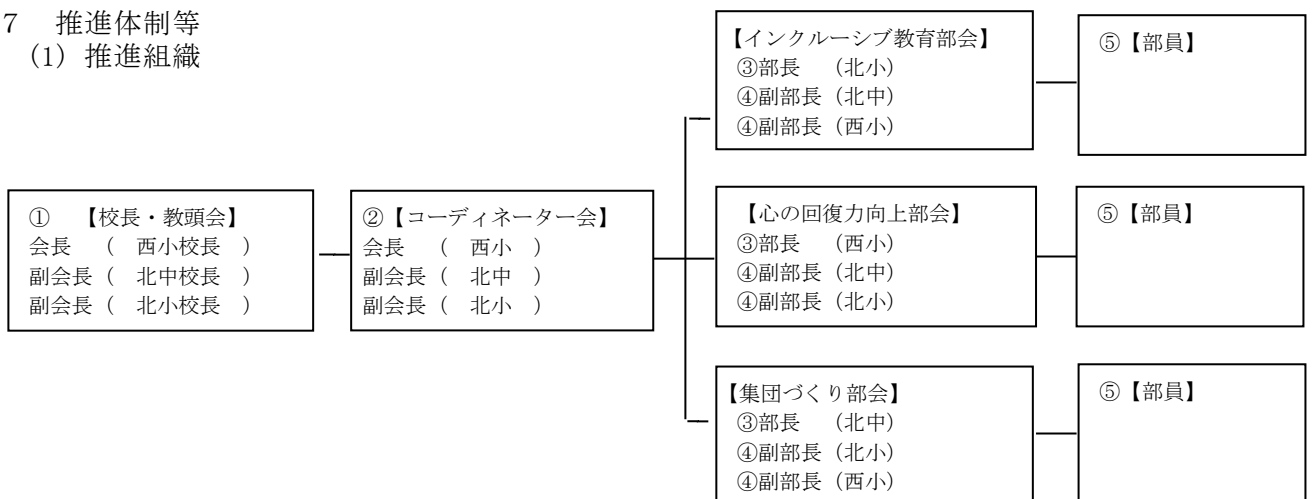
- ・生徒指導の三機能を生かした授業の実施
- ・小中一貫した生徒指導規程や学習規律づくり
- ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用
- ・アンガーマネジメント能力の育成に係る研修の実施

6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
学習したことを理解している。	標準調査・実力試験結果	前年度との比較	前年度数値（9月実施） 小1年 国66.3点 算80.0点 2年 国78.6点 算72.3点 3年 国69.8点 算66.9点 4年 国66.5点 算62.3点 5年 国74.0点 算60.2点 6年 国75.9点 算75.5点 中1年 国64.9点 数36.0点 2年 国44.0点 数39.5点	前年度比 +5点
協働的問題解決力に関する質問	児童生徒アンケート	前学期との比較		
心の回復力に関する質問	児童生徒アンケート	前学期との比較		
不登校や登校をしぶる児童生徒の減少	欠席・遅刻状況	前学期との比較		

7 推進体制等

(1) 推進組織



<幹事会①～③ 拡大幹事会①～④ 総会・研修会①～⑤>

- ① 校長会… 基本構想，各部会への指導助言等
 - ① 教頭会… 日程調整，校長の代理
 - ② コーディネーター会
 - 各教科・領域の年間指導計画作成等
 - ・「資質・能力」の具体化のための取組について
 - ・「教科の基本的な考え方」の見直しについて
 - 研究全体の牽引
 - ・各部会・各担当間の調整，全体のとりまとめ，研究記録の作成
 - ③ 部長… 各部会の取組計画，各部会の取組のまとめ等
 - ④ 副部長… 各部会の取組等
- ※幹事会等で教務主任・生徒指導主事・健康安全主事・体育主任等の参加を要請する。

(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業（中→小）

教科	算数
実施対象学年	第5学年・第6学年
時数	第5学年 昭和西小，昭和北小 各学級 週1時間
	第6学年 昭和西小 各学級 週1時間と隔週1時間
	昭和北小 各学級 週1時間
教科	未定
実施対象学年	第6学年
時数	3学期1時間

イ 小学校教科担任制等

- ・昭和北小 第2学年（書写）
- 第3学年（書写・図工3年2組）
- 第4学年（書写・図工4年2組，4年3組のみ）
- 第5学年（理科・音楽・家庭科）
- 第6学年（理科・音楽・家庭科）
- ・昭和西小 第3学年（書写）
- 第4学年（理科・音楽）
- 第5学年（理科・音楽・家庭科）
- 第6学年（理科・音楽・家庭科）

8 推進計画

月日	内 容		
	昭和北中	昭和西小	昭和北小
4月17日(水)	幹事会「年間計画・取組内容」「第1回合同研修会について」		
5月28日(火)	拡大幹事会「年間計画・取組内容」：第1・2回合同研修会について		
6月 7日(金)	第1回小中一貫教育合同研修会：レジリエンス研修		
8月 2日(金)	第2回小中一貫教育合同研修会（西小）：全体会・部会		
9月18日(水)	拡大幹事会「第3回小中一貫教育合同研修会について」		
10月 2日(水)	第3回小中一貫教育合同研修会（北小）… 5校時授業研・協議会		

10月 7日(月) 10月21日(月) 10月22日(火)	陸上記録会合同練習会 西小：10月22日(火) 北小：10月 7日(月), 10月21日(月)
1月14日(火)	幹事会「研修会の成果と課題・第4回合同研修会について」
1月29日(水)	第4回小中一貫教育合同研修会(北中)…部会・全体会
2月 3日(月)	中学校入学説明会(6年生)
2月12日(火)	乗り入れ授業(西小6年生)
2月17日(火)	乗り入れ授業(北小6年生)
2月25日(火)	幹事会「次年度推進計画について」
3月21日(金)	6年生連携

9 その他

- ・小中一貫だより(年3回発行予定)

※ 研究構想図, カリキュラムマップを添付する。